

2023年度 保育所・保育士の自己評価

まつやま大手町保育所
 評価責任者 園長 岡田 真由美

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。この事を踏まえ、まつやま大手町保育所ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図る為、保育所及び保育士の自己評価を実施しました。

今後はこの結果を踏まえ、次年度の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していく事で、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や 地域の皆様との信頼関係がより良く深まるよう努めてまいります。

2023年度、保育所及び職員の自己評価についてご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。職員が1年間を振り返り、評価をする事で新たな課題を見つけ、園の運営や経営に役立てればと考えております。引き続き、来年度も職員一同、心を1つにして未来ある子ども達のために笑顔あふれる保育に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

まつやま大手町保育所の自己評価					
【評価の基準】 A 大変良くできている B できている C 概ねできているが、今後に向けて改善する余地がある D できていない、要改善					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
に保育 つ育 い目 て標	① 保育方針・保育目標は職員間で共通理解を図っている。	○			
	② 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。	○			
	③ 目標は前年度の反省を活かしている。	○			
○評価の根拠●改善策					
○保育所保育指針に基づき、全体的な計画・年間指導計画・月案・週案・日案を作成している。 ○昨年に引き続き、主任保育士を中心とし、日々の子どもの成長を捉えたり、課題の発見や改善などを見つけやすくしたりできるきっかけ作りとなつような研修を考え、実施する事ができた。フォローが必要な所は、気が付いた職員でカバーし、目標が活かされるような保育に向けて取り組んでいると思う。取り組んだ保育内容が子ども達の成長として反映されるよう、日々職員全体で考えていきたい。					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保育 内容 につ いて	① 計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。	○			
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○			
	③ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。		○		
	④ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○			
	⑤ 素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	⑥ 園内研修や評価結果を基に保育の改善に努めている。	○			
○評価の根拠●改善策					
○月齢に見合った成長発達の段階をしっかり把握し、見合った保育ができているかどうか、考え方の乖離がないよう、引き続き、勉強会や個々の面談を根気よく実施していく。 ○保育士同士がお互いに意見を出し合い、子どもたちの姿を多面的にとらえていけるようにする意識が定着してきていると感じる。しかし、まだまだ個々のスキルに差がある為、その乖離がなくなるよう努める。 ●昨年の課題であった、「考えただけの環境を用意するだけでなく、提供した環境を子ども達と一緒にどう使っていくのか考える」という点については、今年度も継続するべき課題として取り組んでもらっている。保育士のスキルの底上げの研修は引き続き行なっており、また個々での面談も多く取り入れている。					

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
食育について	① 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。	○			
	② 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。	○			
	③ 評価結果を元に食育の改善に努めている。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○プランターでの野菜の栽培や収穫、給食食材であるとうもろこしの皮むきの下処理や買い出し(萱町商店街等)でお買い物体験も多く機会を設けた。</p> <p>○今年は、屋外遊戯場でできたブルーベリーのジャム作りやバレンタインのチョコ作りの簡単な調理体験もできた。</p> <p>○季節や献立に合わせてホットプレートや大皿で可愛く盛り付けたり(手作りおやつ)、おでん用鍋での給食提供を行ったりと子供たちの食への意欲につなげる事ができた。</p> <p>○昨年に引き続き、園外での芋ほり体験を実施。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保育・行事について	① 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか。	○			
	② 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	○			
	③ 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。	○			
	④ 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○			
	⑤ 保護者の願いや意見を取り入れている。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○季節時の行事や月1回程度実施している公開保育は、日頃子供たちが楽しんでいる活動から取り入れ、「行事だから」ではなく「日ごろの保育の延長上に行事がある」ことを目指している。年間通して、園として目指している保育を保護者の方に見てもらえた。</p> <p>○定期的な勉強会で随時、各年齢ごとに子供たちの育ちを捉えながらその活動が年齢に見合ったものであるか、適切であるかを精査している。無理のない活動ができるようにしているか、引き続きする必要がある。</p> <p>○毎年実施している保護者アンケートを基に、保護者からの願いや意見を取り入れている。また、送り迎えの時にも直接話をする等して意見を取り入れて反映させる事ができている。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
組織・運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に携わっているか。		○		
	② 職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。	○			
	③ 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。	○			
	⑤ 打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。	○			
	⑥ 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
	⑦ 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○			
	⑧ 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
	⑨ 評価・資料(記録)を集積しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○保育補助という担当を設ける事で各クラス担任保育士や朝夕短時間保育士・午前フォロー保育士としっかり役割分担ができ、自身の本来の役割に注力する事ができたのは良かった。しかし、そういった保育以外の雑務も余裕があれば(気が付けば)、フォローできるようなチームとしての気遣いも保育には必要ではないかと思う。自分の事だけでなく、全体を見て動く=子ども達の保育にも繋がる事を伝えていきたい。</p> <p>○担任として、どういう保育を提供していきたいか、子ども達にどう成長してほしいかという思いを保護者に手書きやポートフォリオで伝えたりする事ができた。</p> <p>○定期的な勉強会や月1回の職員会で、職員間の情報共有や保育のすり合わせを行っている。時間や内容は必要と感じたらどの職員でも、その都度場を設け、すぐに打ち合わせができるような職場環境にしたい。次年度は若手の保育士の意見を発信・企画してもらおうと考えている。</p> <p>●次年度は保育士人数が例年より少ない人数での運用となる。その分、全体的な視野と配慮が各職員に求められる(今まで人数にゆとりがあり、自分がでずに誰かにしてもらっていた事も、人数が少なくなった為、自身がしないといけなくなる。)ので、保育だけでなく、人間力の向上も意識してもらえよう伝えていく。</p>					

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保健・安全指導	① 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○			
	② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
	③ 保育士・調理員が連携し、アレルギー児や提供方法等に対応する環境・体制にあるか。	○			
	④ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
	⑤ 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○感染症・アレルギー・事故防止及び発生時のマニュアル・交通安全指導・避難訓練の年間計画を作成。それを基に対策・訓練の実施ができた。</p> <p>○アレルギー児2名の食器の個別化を徹底し、除去食メニュー(松山市公立保育所メニューから該当アレルギー食材を除去)を2人以上の確認チェックを行い、誤飲なく安全に提供できた。</p> <p>○年2回の健康診断(内科・歯科検診は共に6月と12月に実施)、毎月の身体測定を実施。</p> <p>○危機管理意識及び安全の為、必要な研修に積極的に参加。管理者が防災士と食品衛生責任者の資格を取得し、職員への安全・防災意識ができるよう普還元していく。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内外研究・研修	① 研修・研究は保育目標の具体化につながるものであるか。	○			
	② 所内研修の計画・運営は適切か。	○			
	③ 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。		○		
	④ 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。	○			
	⑤ 各種研修会・講習会等での内容を所内に報告・還元しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○職員も積極的に園外研修・講習会に参加し、保育の質の向上及び自己研鑽に努める事ができたが、来年度からは、研修に参加できるような職員配置が厳しいので、精査して参加できればと思う。</p> <p>○主任が中心となって実施した園内研修は、その時に必要な子どもへの関わり方や言葉かけの配慮や提供すべき具体的な保育内容を共有したりして、保育の質の向上及び自己研鑽に努めてもらえるよう配慮した。</p> <p>●自身の保育の引き出しの幅を広げ、新たな保育の実践という点では消極的だったように思う。最終、主任がフォローするという場面も見受けられたので、来年は毎年、同じ事をするのではなく、新しい企画や保育の提供を担任となった保育士は考えてもらうようにしていく。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内情報	① 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			
	② 公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○			
	③ 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で、細心の注意を払い取り扱っている。</p> <p>○保育業務として知り得る情報や文書の内容等に関しては、職員会等で全員(参加できないパート保育士は個々に)に周知し、個人情報に関する書類等は鍵付の棚で保管する等の配慮をしている。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
施設・設備	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			
	② 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○			
	③ 掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○遊具や玩具の点検(チェックシートの作成)や消毒を行い、整理整頓を定期的実施している。</p> <p>○感染症の流行の進捗状況や保護者へのお願ひ等の掲示は口頭以外での周知に役立っている。</p>					

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園外交流・情報	① 積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれている。	○			
	② 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
	③ 事業所職員の保育体験及び保育施設見学会を受け入れる時は、その目的や目的や意義を理解・確認しているか。	○			
	④ 保育所から各種便りを定期的に発信しているか。	○			
	⑤ 保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報を提供しているか。	○			
	⑥ 医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○コロナ禍前の状態となり、積極的に公共機関を使つての園外保育を実施したり、地域への商店街等の買い物に出かけたりして園の特徴でもある積極的な園外活動を多く持てた年となった。</p> <p>○事業所内保育所である利点を生かして、CATV本社との新たな合同イベントを実施できた。社員と子ども達が一緒にオープンスタジオ前の花壇作ったり七夕の笹飾り作ったりするだけでなく、来客した方へのプレゼントを企画・製作して提供し(①まつぼっくりのXmasリース②子ども達が植えて育てたチューリップ)、プレゼントをした。(お客様に大変好評だったとの事。)</p> <p>○CATVの地方チャンネルで、毎月の公開保育等や子ども達の園での様子をチャンネルにて、月1更新で放送してもらおう事で保育所の様子を知ってもらう機会を増やした。</p> <p>○事業所である愛媛CATVの社員研修の一環に保育所体験(2023年度は4名参加)を行ったり、他企業・学生からの保育所見学会を会社説明会時に見学したり、WEB撮影にて受け入れたりしている。</p> <p>○毎日、ホームページにて園生活を公開し、より多くの人に知ってもらえるように具体的に園での様子を見てもらえるよう、オープンにしている。</p> <p>○松山市・保育幼稚園課からの周知事項や園だより等の各種たよりを定期的に保育所側から発信している。</p> <p>○保護者からの要望があれば、関係機関と連絡し、情報を提供する事ができる。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
評外評価部	① 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			
	② 苦情解決の体制づくりはできているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○保護者アンケートを実施し、改善の努力をしている。</p> <p>※当園では第三者評価は導入していません。</p>					

2023年度 まつやま大手町保育所の保育士の自己評価

【評価】

- A おおむね達成できている
- B 達成に向けて取り組んでいるが、まだ課題が残る
- C できていない

【回答者】

保育士8名

項目	業務内容	評価内容		
		A	B	C
保育について	① 園の保育方針を理解して実践しようと努めている。 ※クラス担任の保育士は園の保育方針を理解して、各年間保育計画・月週案の内容や目標等を立て保育に従事できたか。 ※クラス担任でない保育士はクラス担任(常勤)の保育実践が円滑にできるように努めたか。	6 /8	2 /8	0 /8
	② 子どもの姿を的確に捉え、保育に必要な記録資料などの作成と活用を効果的に行っているか。 ※クラス担任でない保育士は、各クラス担任の上記内容ができるよう、協力できたか。	4 /8	4 /8	0 /8
	③ 子どもの成長発達について理解と認識を持ち、個々に応じた適切な対応ができているか。	3 /8	5 /8	0 /8
	④ 計画立案に基づいた保育、クラス運営をしているか。 ※クラス担任でない保育士は担任保育士や全体を見てフォローができるよう意識しているか。	3 /8	5 /8	0 /8
	⑤ 日々の反省を活かした計画立案や保育実践がなされているか。 ※クラス担任でない保育士は、毎月の保育反省の提出をしているか。	6 /8	2 /8	0 /8
	⑥ 子ども一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっているか。 ※クラス担任でない保育士は担任保育士が上記保育ができるよう情報の共有やフォローができているか。	3 /8	5 /8	0 /8
	⑦ 子どもの発達を促すための環境作りやかかわりを心がけているか。	5 /8	3 /8	0 /8
	⑧ 子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りや援助を行っているか。	4 /8	4 /8	0 /8
	⑨ 玩具や遊具の安全確認・消毒及び掃除・整理整頓に努めているか。	8 /8	0 /8	0 /8
	⑩ 子ども達の手本となるような言葉づかいや立ち居振る舞いを心がけているか。	7 /8	1 /8	0 /8
安全管理	① 保育中の子どもへの配慮(かみつき・危険な行動等)	7 /8	1 /8	0 /8
	② 園外保育における人数確認及び安全確認ができているか。	8 /8	0 /8	0 /8
	③ 園児の状態を指針・問診できているか。(表情・怪我・体調等)	7 /8	1 /8	0 /8
	④ 遊具・備品等の及び安全確認・感染対策	7 /8	1 /8	0 /8
接遇・保護者対応	① 好感の持てる態度で保護者や見学者・来客等に明るく丁寧な対応ができているか。	7 /8	1 /8	0 /8
	② 保護者等の話をよく聞くなど、コミュニケーションをとり、安心して相談できる関係作りに努力しているか。	7 /8	1 /8	0 /8
	③ 保護者に対し、子どもの様子を分かりやすく伝えているか。(おたよりノート記入も含む)	6 /8	2 /8	0 /8
	④ 必要な情報を収集し、自分の実践に活かしているか。	7 /8	1 /8	0 /8
職務	① 上司や先輩の指導・助言を受け入れ、実践しているか。	7 /8	1 /8	0 /8
	② 組織の規則や手続き、職場のルールを守って職務に取り組んでいるか。	8 /8	0 /8	0 /8
	③ 服装や身だしなみを整え、丁寧に礼儀正しい対応をしているか。	8 /8	0 /8	0 /8
	④ 職員間の必要な連絡・連携・報告はとれているか。	6 /8	2 /8	0 /8
	⑤ 与えられた仕事(日常・行事・雑用等)はきちんとできているか(正確さ・提出期限)。	8 /8	0 /8	0 /8
	⑥ 組織の一員である事を自覚し、周りの仕事にも自主的に協力しているか。	8 /8	0 /8	0 /8
	⑦ 自己の体調を管理し、他の職員に迷惑がかからないよう努めているか。	6 /8	2 /8	0 /8
	⑧ 職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意しているか。	8 /8	0 /8	0 /8
その他	① 問題意識を持ち、専門書を読んだり情報を収集したりして、自己の保育力の向上に努めているか。	6 /8	2 /8	0 /8
	② 積極的に研修や講習に参加する等、保育について何らかの自己啓発(自己研鑽)に取り組んでいるか。	5 /8	3 /8	0 /8
	③ 新しい仕事や困難な仕事にも、失敗を恐れず、前向きに取り組んでいるか。	4 /8	4 /8	0 /8

総合評価(保育士コメント一部抜粋順不同)

- ・個々の子どもたちの成長過程で必要になる援助を考えながら保育を行っていかたと感じている。子どもたちは前進してだけでなく、行きつ戻りつ成長していくため、毎日の変化をしっかりと捉えて応答することに努めていった。その中で、一つ一つの言葉がけがその時にその子に必要なものか振り返り、反省を行うことも忘れないようにしていた。
- ・子どもたちが自分自身を思う存分発揮して過ごせるようにも務めたことで、子どもたちは自分の想いをしっかりと伝えたり人とコミュニケーションをとる力を育んで行けたように思う。
- ・園外保育にでかけ、さまざまな経験をするだけにとどまらず、その経験の中で子どもたちがどんなことに目をとめて、何に興味を持ったのかななどを観察し、その後の遊びなどに繁栄できるような環境を整えたり、一緒に遊びこんだりすることに努めた。そこから発表会などの行事にもつなげていき、子どもたちが無理なく日頃の活動を保護者の方に見ていただく機会になったのは良かったと思う。
しかし今年度は自分自身の体調面で周りの職員に手助けしてもらうことが多く反省する。自分が思っているより無理はきかないので、体調面には留意しつつ子どもたちと一緒に遊べるパワーをしっかりと貯えたいと思う。
- ・子どもの発達や課題を的確にとらえて関わる事が大切だと感じる1年だった。
- ・1年を通して、最初は初めて受け持つ年齢の担任という事で、模索しながらだったが、生活リズムが整ったり、食事をきちんと食べられるようになったりと、毎日工夫しながら続ける事で、成長する姿が見えて良かったと思う。他の先生方にも協力してもらいながら、安全に子ども達の成長を援助する事ができて良かった。
- ・今年度は1歳児5人を受け持ち、様々な活動をしてきた。時折、2歳児と共に園外保育等に行って、様々な体験をしながら成長できた部分がたくさんあったと思う。しかし、保育を通して育ててもらいたい子ども達の発達や成長に対して、自身がどう関わっていくか、またどう援助をしていくかという事をもっと深く考えなければいけなかった。「今日はこういう姿が見られて良かった。」「こんな所ができて良かった。」とただ自分の中で完結させてしまっていて、「じゃあ、次はこのできるようになった事を定着、習慣化するために何が必要でどう保育していこうか」「こういう関わり方でアプローチすればさらに成長するのでは」という次の見通しを持って保育をする事ができていなかった。その反省は日々の保育だけではなく、大きな行事を引っ張るリーダーとして采配した時も同じ事がいえたと思う。準備や考える事を怠ってしまい、他から指摘されて動き始める事となり、最終は主任をはじめ、他の先生に助けをもらう形となってしまった。
- ・短時間勤務だが、日中保育や行事等で保育活動に入る事もあり、日頃の様子や体調等を聞き、援助活動を行った。
- ・勉強会には積極的に参加し、翌日には実践していく事ができた。
- ・担任保育士の活動内容で自身がどう動けば良いのか(ごっこ遊び等)、臨機応変に対応できるスキルを身に付けていきたい。
- ・1月からの産休明けの職場復帰となったが、1年経過し心身共に大きく成長している在園児や、初めて関わる機会を持った今年度入所児との関係作りでいっぱいになってしまっていたと思う。
- ・子ども達それぞれの発達や性格等を理解しながら関わっているが、イヤイヤ期や自我が出てきた際の対応の仕方に問題がないか、気持ちの切替えができない子ども達との関わり方が合っているか明確にできていない部分がある為、主任等に相談しながら個々に合った保育ができるように、今年度残りを最後までやっていきたい。
- ・分からないまま有耶無耶にして、失敗を恐れて誰かの助言に甘えすぎてしまっていると反省する。以前から直すよう言われているが、中々克服できないまま1年を過ごしてしまった。当たり前の事ではあるが、今後は自分の考えをしっかりと伝えられるよう、準備を怠らないようにしたい。本当はもっと早くするべきだったが、改めて自分の保育を見直しもっと勉強していこうと思う。
- ・勤務を始めた時に年度途中の為、接し方が難しいと思った所があったが、新年度から過ごした1歳児の子ども達でも、同じような事があり、子どもの成長段階やその時の気分等で起こっていたと理解できた。先生方に助言を求め、その都度対応していった。個々に必要な援助は様々なだが、共通して配慮したのは、年齢にかかわらず伝わるものと思って、丁寧に言葉をかけるという点だった。図分の考えを言葉にしている2歳児を見て、その重要さを痛切に感じている。常に成長し続ける子ども達に対し、支配や管理ではない保育がおこなえるよう、関係を築いていきたいと思う。
- ・時短勤務の為、より効率的に動けるように意識はしていたが、手際の悪い所もあるので、次年度も引き続き意識していきたい。また保育所を利用し始めた自分の子どもの体調不良等で欠勤したり、早退したりする事も多々あった。自分の体調管理だけでなく、家族の体調管理にも気を配り、そのような機会を少しでも減らしていきたい。
- ・振り返ると、保育だけでなく、自分自身にも多く課題があり反省しなければならない。躊躇わず色々な事に挑戦し、少しずつでも課題を克服していきたい。

【園長総評】

今年度もあとわずかとなりました。子ども達が笑顔で大きな怪我もなく元気で過ごすことができているのも、日頃の保育所の運用にご理解いただいている保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそだと改めて感謝しております。

新型コロナウイルス感染が落ち着いたという事もあり、2023年度は、2歳児を中心に徒歩圏だけでなく公共機関を使って色々な場所へお出かけしたり、新しいイベントに参加したりと、多くの経験ができた1年となりました。、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出や園での生活にも何か活動等も制限された3年間で、体力や免疫力が低下し、風邪等の感染症を罹患し、欠席する子ども達が例年より多く感じた年でもあったように思います。

2023年度の保育士自己評価の総評としましては、評価項目の『保育について』ですが、見通しを持った保育ができたかどうかという保育に対して思う所があった職員が多かったようです。定期的に行う勉強会で、子ども達の今抱える課題や今後の見通しについての職員間の耳合わせをしたり、担任から直接話を聞いたり、勉強会等を通したりして保育の擦り合わせを行い、提供する保育が同じ方向かより考え、真摯に自身の実践している保育と向き合い、子ども達の成長に見合ったものなのかどうか考える機会と時間が増えから評価Bが増加したと考えます。子ども達の発達や成長を考えて保育に向き合っているのか…と職員が振り返っているからこそ、反映された内容の評価だと思います。それは、消毒・感染対策、安全確認の徹底は全員がA評価をしている事からも分かります。経験を重ねていく事で保育力が向上し、保育を振り返った際の、自身の思う保育と実際の保育の乖離が少なくなる(=評価Aが増える)はずです。

また、去年は職員が増えた事で情報共有が十分でなかったと感じた職員がいましたが、職員間の必要な連絡や報告といった情報を共有しないといけない事項のAの割合は増えましたので、改善されていると思います。勤務時間の短い職員も、担任がどう取り組んでいきたいのかという情報共有ができていたからこそ、評価自体が向上したと考えます。

『その他』の項目が、昨年と比べBの割合が増えています。コロナ渦前の状態になる事を見据えていたかいなかったか、職員メンバーも大きな変動もなく、気持ちの緩み(=慣れ)が若干あるようにも感じます。その結果、主任が考えたイベント企画や保育活動が多かったように思います。

2024年度は、主任がフォローしながら、主任以外の職員での新しい企画や保育を考えてもらい、形にして実践できるようにしたいと思います。職員には、常に新しい何かを考え、様々な経験を子ども達にさせてあげたいという気持ちを持ち続けて欲しいと思っています。また、提供する保育の幅を広げる為にも、保育士自身が色々な事に関心を持ち、保育に活かせる材料やネタはないかアンテナを張り、『こういう保育をしてみたい！』という新しい保育を期待しています。それに応えられるような環境を保育として整え、子ども達に提供できるようさらに精進していきます。